

令和4年度「京丹後市いじめ調査（1回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施 13名

【小2:1名、小4・小5:各2名、小6:6名、中1・中2:各1名】

(2) 家庭訪問での実施:18名

【小3:1名、中1:4名、中2:5名、中3:8名】

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2340	1286
調査児童生徒数(人)	2329	1284
未調査児童生徒数(人)	11	2
実施率	99.5%	99.8%

2 認知と解消について

(1) 認知件数と未解消

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	41	31	45	35	12	21	185	9	9	4	22	8,813	930
	女子	33	32	38	32	10	14	159	7	5	1	13		
	合計	74	63	83	67	22	35	344	16	14	5	35		
未 解 消	A要指導	9	5	13	15	5	5	52	2	0	0	2	1,238	119
	B要支援	12	8	19	14	5	4	62	2	1	1	4	1,389	138
	C見守り	53	50	51	38	12	26	230	12	13	4	29	6,124	655
解消	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	18

A:行為止んでおらず被害者の苦痛あり

B:行為止んでいるが苦痛あり

C:行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市すべての小・中学校で、いじめを認知している。

イ 未解消A要指導件数:小学校52件(R3同調査比+36件)、中学校2件(R3同調査比+2件)

未解消B要支援件数:小学校62件(R3同調査比+25件)、中学校4件(R3同調査比+3件)

ウ いじめ事象:小学校2件(加害児童8人)、中学校1件(加害生徒1人)

(2) 認知率

認知率	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	市小学校	府小学校	中学1年	中学2年	中学3年	市中学校	府中学校
平成30年度	24.4%	29.9%	21.1%	20.2%	13.0%	5.9%	18.6%	20.4%	5.0%	3.5%	0.8%	3.0%	3.8%
令和元年度	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	17.2%	18.6%	4.0%	3.9%	1.5%	3.1%	4.0%
令和2年度	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	14.9%	13.5%	3.9%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%
令和3年度	18.0%	24.5%	22.4%	10.4%	14.5%	6.1%	15.9%	15.7%	3.4%	2.1%	0.9%	2.1%	3.2%
令和4年度	18.5%	▲15.9%	▲21.6%	▲16.9%	▲5.7%	▲9.5%	14.8%	15.5%	3.9%	▲3.2%	▲1.1%	2.7%	3.2%

ア 中学校は令和3年度と比較して認知率が増加したが、小学校は過去5年間で最も低い認知率となっている。

イ 京都府との比較では、小中学校ともにやや低い数値である。

ウ 同一学年を昨年度と比較すると、全学年で減少している。

(3) 解消について(令和3年度)

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	
1回目	認知件数	71	95	88	40	53	25	372	15	9	4	28	
	解消率	97%	84%	88%	100%	87%	100%	93%	80%	89%	50%	73%	
2回目	認知件数	67	78	72	32	43	24	316	7	10	3	20	
	解消率	94%	92%	85%	94%	98%	100%	94%	71%	100%	100%	90%	
3回目	認知件数	61	64	52	20	25	14	236	8	6	4	18	
	解消率	100%	88%	88%	100%	96%	100%	95%	75%	83%		79%	
	未 解 消 件 数	A要指導	0	3	5	0	0	0	8	0	0		0
		B要支援	0	0	0	0	0	0	0	1	0		1
C見守り		0	5	1	0	1	0	7	1	1		2	

ア A 要指導の8件は、指導により一旦いじめ行為は止んでいるものの、3か月以内に同様の行為がくりかえされることにより未解消となっている事例である。

イ すべての認知件数において聞き取り調査及び指導を行うだけでなく、児童生徒の気持ち安定するまで、3か月を経た後も支援・見守りを継続し解消に向けて取組を進めることが重要と考えている。

(3) 態様の状況について

いじめの態様	小学校					中学校				
	令和3年度		令和4年度			令和3年度		令和4年度		
	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合
①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	224	40.6%	187	44.6%	38.2%	18	46.2%	19	44.2%	51.8%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	54	9.8%	47	11.2%	12.6%	3	7.7%	3	7.0%	8.4%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	104	18.8%	95	22.7%	19.5%	5	12.8%	7	16.3%	8.7%
④ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	54	9.8%	46	11.0%	9.2%	3	7.7%	5	11.6%	4.4%
⑤金品をたかられる。	12	2.2%	4	1.0%	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0.8%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	31	5.6%	9	2.1%	3.7%	1	2.6%	1	2.3%	2.3%
⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	67	12.1%	30	7.2%	9.2%	5	12.8%	1	2.3%	5.6%
⑧パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	5	0.9%	0	0.0%	1.5%	2	5.1%	6	14.0%	6.4%
⑨その他	1	0.2%	1	0.2%	4.2%	2	5.1%	1	2.3%	6.1%
合計	552		419			39		43		

ア 態様件数の変化

(ア) 令和3年度同調査と比較をすると小学校で133件減少、中学校で4件増加している。

イ 態様項目等について

(ア) 小中学校とも、「①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様の全体に占める割合が4割以上と最も高い。

(イ) 小学校は上位3項目が京都府と同様であるが、中学校は今年度3番目に多い項目が「⑧パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」となり、京都府との違いが出ている。内容としては、SNS上で校内の生徒ではなく、知らない人からの悪口や誹謗中傷がほとんどで、相手の特定ができない場合が多い。

(ウ) 「③ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする」の項目が京都府と比較して高い。

3 重大事態について

1回目調査、および本日までにおける「重大事態」はない。